

司法書士さん  
も  
同席する

# 相続

# 相談会

ご相談無料

事前予約制

加来不動産では土業と連携して一般社団法人「みらいわ」を設立しております。

例えば…

- ★土地の名義が祖父(祖母)名義のままになっているが大丈夫？
- ★相続が発生したら揉めそうだが事前の対策があるだろうか？
- ★遺言書を作成したいがどこから手を付けたらいいかわからない…

開催日

2022

12/24(土)

10:00~  
17:00



令和4年12月10日  
Vol. 218

発行所 加来不動産株式会社  
発行 加来 寛・スタッフ一同  
小倉南区守恒本町一十二二十三三〇一  
(〇九三)九六二一五八一  
<https://www.kaku-f.co.jp/>



Kitakyushu  
SDGs



みらいわ無料相談会では  
7つの分野の専門家に  
同時に相談できる

だから…



時間  
と  
手間短縮

質の高い  
ご提案

安心

YouTube

一社みらいわメンバーって  
こんな人たちです(^ ^)

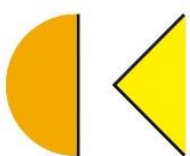


予想外

相談しやすい



スマートフォンはこちらから



加来不動産株式会社

KAKU FUDOSAN Co., Ltd. • since 1977

ご予約  
連絡先

0120-44-9923

北九州市小倉南区守恒本町1丁目12-23-101 (グッデイ小倉南店 斜め前)

営業時間: 9:30~17:00まで

定休日: 日曜日・祝日

# ひとこと不動産業界

## 「不動産広告、十年ぶりの大改正」

9月1日に施行された新しい表示規約は、計測のスタート地点の明文化と主要ターミナル駅までの計測方法が変更された。まず、計測のスタート地点に関しては、改正前は駅やスーパーなどの各施設まで物件の敷地内で一番近い地点を計測することができた。しかし今回の改正でマンションやアパートについては、建物の出入口(エントランス)をスタート地点とすることが明文化された。

《全国賃貸住宅新聞 第1533号》

# 先月のグッときた本の紹介

昨今の時勢もあいまって、特にむずかしい「ひと」と「チーム」に関する問題に、「話しやすさ」「助け合い」「挑戦」「新奇歓迎」の4つの因子からなる、「心理的安全性」を組織につくることを解説した本です。

「心理的安全性」が高いチームとは、仲が「悪すぎる」でも「良すぎる」でもなく、目指すゴールや成果のために「健全な意見の衝突」がおこせるチームとのこと。

職場やチームに焦点を当てた本ですが、日常のコミュニケーションのなかでも使える言葉が満載で目からウロコでした。例えば、「挨拶時に相手のなまえを添える」、「依頼した仕事が期日までに上がってこない時の『止まっているところって、どこですか?』」などです。

わたしは、この本の2~3のワードをミックスして、メンバーから相談を受けやすくするよう、『「ちょっといいですか」といわれたら、手をとめて話をきく』ということを実践中です♪  
よりよいチームを目ざして奮闘中です☆



西村の

## 『心理的安全性をつくる言葉55』



著者：原田 将嗣  
発行：飛鳥新社

# ウチ。こんなことやっています

こんにちは。ひだまり部の加来です。クリスマスイルミネーションが目を楽しませてくれる季節となりました。

皆さま、いかがお過ごしでしょうか。事務所前にも、イルミネーションがきらめきクリスマス一色に染まっています♪クリスマスが待ち遠しいです♥

夏から秋にかけてのひだまり部の活動としては、とうもろこし、ピーマン、オクラの収穫。芋ほり、ほうれん草苗、ジャガイモ、大根苗を

植え付けしました。

芋ほりは、スタッフと家族も参加し、たくさん収穫がありました。

私も、子供のころ遠足で芋ほりをした記憶はあるのですが、今回芋を植えるところからやってみて、心がワクワクしていました。



夏場辺りから、ぐんぐん苗が延びて元気に育っていることを実感し、暑さにも負けず雑草取りや水やり「美味しく育ちますように」🥰と念じながら成長を見守ってきました。

実際に掘り起こす作業は力が要りましたが、掘った所から、お芋が顔をのぞかせ

そこから、優しく丁寧に



お芋が掘り出しました。子供たちも大喜びで、大きなお芋が出てきたら、「やったー！私のこんなにおっきー♥」とドヤ顔で見せてくれました。

楽しい時間を皆で共有できてとても幸せでした。

これからも、『たいようのはたけ』にたくさん野菜を植えて、大事に育て、大切に調理して味わって、食べ物を通じて、お互いに過ごしていこうと思いま

す。ちなみに、お芋は、みそ汁、大学芋、さつまいもジャムにしていただきました🥰甘くて美味しかったです♪

《ひだまり部

加来 ゆかり



# 加来 寛の感動体験

先月、毎年恒例のひとり旅にでかけてきました。今年の舞台は「高野山」三泊四日の旅です♪

ひとり旅の目的は、アタマも身体も空っぽにして自分と向き合うためです。ですから腕時計も外し、スマホの電源も落とします。

初日の午前中は、新幹線と電車をつかっただけの移動です。高野山下の「極楽橋」という駅からケーブルカーをつかわず、徒歩で高野山を目指しました。天気は晴

れたり曇ったりでしたが、とても気持ちのよい山道でした。

宿に到着したのは、16時前。荷物を部屋において



【壇上伽藍】※インターネットより

次の日は朝4時起床。奥之院でいまま修行をしていると言われる空海さんに挨拶に行き、その後は曇り空のなか熊野古道を約25キロほど歩いて次の宿泊先へ。到着した頃には空腹と足の痛みでフラフラでした。

三日目は、来た道を引き返して高野山へ。来た道をもどる、という何とも面白くないような旅だと思いきや、まったくそんなことはありませんでした。

この日は朝霧につつまれた幻想的な世界からスタートし、幻想的な朝霧をぬけると、なんと！感動的な雲海に出会うことができました。このときばかりはスマホの電源を入れ、思わず「パシャリ♪」



澄みわたった秋晴れだったこともあり、テンションもあがって足の痛みも体力も一気に回復しました。

四日目は、空海さんにお礼参りをした後、無事帰路につききました。

四日間、音信不通という状況を家族もスタッフも理解してくれたお陰で、今年も実りある時間を味わうことができました。また気持ちをリフレッシュして、仕事に邁進したいと思えます。

《加来 寛》

